

指揮：
佐々木 新平

Shimpei Sasaki, Conductor

チェロ：
宮田 大

Dai Miyata, Cello

東京交響楽団

「アートキャラバン」富山公演

～オーケストラと心に響くひとときを～

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調 op.104

チャイコフスキー：交響曲第4番 ヘ短調 op.36

2023年 **11月2日(木)** 19:00開演 (18:00開場) **オーバード・ホール 大ホール**

※オーバード・ホールには駐車場がございません。お近くの有料駐車場をご利用ください。公共交通機関のご利用をおすすめします。

全席指定：S席¥3,000／A席¥2,000 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

■東響会員先行発売 7/13(木) ※東響会員とは...①サポート会員 ②TOKYO SYMPHONY VISAカード③定期会員の皆様です。 ■一般発売 7/18(火)

■お申込み・お問合せ

アスネットカウンター **076-445-5511** 営業時間10:00～18:00
(オーバード・ホール1F) (月曜定休) (月曜が祝日の場合、翌平日休み)

アスネットオンライン <https://www.aubade.or.jp/>

TOKYO SYMPHONY チケットセンター **044-520-1511** 平日10:00～18:00
土日祝休み

TOKYO SYMPHONY オンラインチケット <https://tokyosymphony.jp>

※各種割引のお取扱いはございません。



アーツナビ <https://www.arts-navi.com/>

チケットぴあ <https://pia.jp/tso/>

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/tokyoso/>

〈チケットのご購入にあたっての注意事項〉

※チケットお申込みは、公演中止の場合以外を除いて変更・キャンセルをお受けできません。*やむを得ぬ事情により、出演者・曲目・その他を変更する場合がありますので予めご了承ください。*チケットの紛失等での再発行はいたしかねます。*営利を目的としたチケットの転売は、固くお断りいたします。*未就学のお客様のご入場はご遠慮ください。*表示価格はすべて税込価格です。

■お客様へのお願い

*発熱等体調不良のお客様は、ご来場をお控えください。
*適切な手指消毒にご協力をお願いいたします。
*咳等をする際には顔を覆うまたは下を向く等の「咳エチケット」の
励行をお願いいたします。
*ブラボー等の声援の際は、マスク着用にご協力をお願いいたします。



佐々木 新平(指揮者)

Conductor: Shimpei Sasaki

秋田県出身。東京学芸大学を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。飯守泰次郎、秋山和慶、小泉ひろしの各氏に師事。その後ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選拔され、J.パヌラ、H.アンドレシュク、M.ストリンガーら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年プザンソン国際指揮者コンクールにおいては本選最終の8人に選出された。

これまで東京交響楽団をはじめ国内主要楽団に客演。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団においては2010年より指揮研究員を務め2019年まで同楽団アソシエイト・コンダクターを歴任した。2021年1月にはヤマハ吹奏楽団常任指揮者に就任し、吹奏楽の新たな境地を切り開く俊英としても期待が寄せられている。また秋田から羽ばたく芸術家の一人として、2022年6月に県の芸術文化の拠点として新たに誕生した”あきた芸術劇場ミルハス”の音楽部門アドバイザーに就任。今後、地域の様々な芸術文化を内外へ発信する重責を担う。

現在オーケストラを中心に、吹奏楽、合唱、オペラ、バレエ等あらゆるシーンで才能を発揮。その活躍の様子はNHK-Eテレ”クラシック音楽館”、NHK-BSプレミアム公開収録コンサート、テレビ朝日”題名のない音楽会”等で放送された。また大規模なイベントを指揮者として統率し、大スクリーンでの映画上映とオーケストラの生演奏で贈る”シネマ・オーケストラ”では「ジュラシックパークinコンサート」等の公演を成功へ導いた。その他、オーケストラによる多彩なCDレコーディングや映像収録、公式イベントでの指揮、さらに映画「マエストロ!」や「海賊とよばれた男」等名作における出演者への指揮指導および劇中音楽のスタジオ収録指揮を務めるなど、多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに遥かなる高みに向かう若き指揮者。

<https://shimpeisasaki.b-sheet.jp>



宮田 大(チェロ)

Cello: Dai Miyata

2009年ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。

スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。

チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京クワルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガボール・タカーチ＝ナジの各氏に師事する

これまでに国内の主要オーケストラはもとより、パリ管弦楽団、ロシア国立交響楽団、ハンガリー放送交響楽団、S.K. ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団などと共演している。

近年は国際コンクールでの審査員や、ロームミュージックセミナーの講師を務めるなど、若手の育成にも力を入れている。

録音活動も活発で、最新アルバムは2022年10月に『ラフマニノフ：チェロ・ソナタ』をリリース。2019年はトーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコッティッシュ交響楽団との共演による「エルガー：チェロ協奏曲」をリリース。欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」において、コンチェルト部門(チェロ)で受賞。そのほか「Piazzolla」「Travelogue」などをリリース。

マスメディアでも「小澤征爾さんと音楽で語った日～チェリスト・宮田大・25歳～」 「題名のない音楽会」「徹子の部屋」「クラシックTV」などへ出演している。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A. ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。



東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミューザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、《サロメ(演奏会形式)》は音楽の友誌「コンサート・ベストテン2022」で日本のオーケストラとして最高位に選出された。